

2008年度（平成20年度）

小諸市の温室効果ガス排出量について

小諸市における2008年度の温室効果ガス排出量を推計しました。

（単位：千t）

		1990年度	2008年度	90年度比		
二酸化炭素	産業部門	製造業	70.4	78.6	11.6%	
		建設・鉱業	10.7	5.3	-50.5%	
		農林水産業	1.6	3.0	87.5%	
		小計	82.8	87.0	5.1%	
	家庭部門		50.6	63.7	25.9%	
	業務部門		45.8	63.4	38.4%	
	運輸部門	自動車	（旅客）	42.2	57.4	36.0%
			（貨物）	59.5	57.1	-4.0%
		鉄道		2.6	2.8	7.7%
		小計		104.5	117.2	12.2%
	廃棄物部門		2.3	2.5	8.7%	
小計		286.0	333.9	16.7%		
その他の温室効果ガス		47.7	24.4	-48.8%		
温室効果ガス総排出量		333.7	358.2	7.3%		

温室効果ガス排出量は環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル第1版（平成22年8月）」に基づいた方法で、市内の製造業、建設・鉱業、農林水産業、家庭、業務、運輸及び廃棄物の7部門について排出される二酸化炭素量を推計し、その他の温室効果ガス（メタン・一酸化二窒素・ハイドロフルオロカーボン類・パーフルオロカーボン類・六ふっ化硫黄）は、「長野県地球温暖化防止県民計画改訂版」における二酸化炭素と温室効果ガスの比率をもとに按分して求めることとしました。なお、温室効果ガス排出量は「t-CO₂」など、二酸化炭素に換算して表記しています。

小諸市の2008年度における市内の温室効果ガスの総排出量は、358.2千t-CO₂と算出されました。1990年度における温室効果ガスの排出量333.7千t-CO₂と比較して7.3%の増加となりました。